

第98回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成29年4月～6月期

平成29年4月～6月期の業況判断指数（日銀短観6月）は、製造業では輸出の回復等により改善の傾向がみられ、非製造業でも、個人消費の持ち直しや訪日外国人客による消費の増加を受け、緩やかな回復傾向をみせている。

こうしたなか、トラック運送業界の4月～6月期は「一般貨物」では、輸送数量と営業利益がやや改善を示す一方で、「宅配貨物」では輸送数量の減少により営業利益は悪化傾向を示した。そのため、景況感の判断指標は▲19.2となり、前回（▲15.3）から3.9ポイント悪化となった。

なお、来期の見通しとして「一般貨物」「宅配貨物」では運賃・料金水準が回復基調となる一方、輸送数量がやや悪化する見込みから、来期の判断指標の見通しは今回の▲19.2とほぼ同水準の▲19.4となっている。

平成29年8月8日

公益社団法人 全日本トラック協会

1. 今回（平成29年4月～6月期）の状況

① 概況

平成29年4月～6月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は13.4%（前回16.2%）、「悪化」とした事業者は30.9%（前回29.4%）で、判断指標は▲19.2となり、前回（▲15.3）から3.9ポイントの悪化となった。

② 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が25.6%、「増加」とする事業者が22.7%で、判断指標は▲5.9となり、前回（▲7.9）から2.0ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が27.4%、「増加」とする事業者が26.8%で、判断指標は▲3.7となり、前回（▲7.4）から3.7ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が32.0%、「増加」とする事業者が19.1%で、判断指標は▲17.7となり、前回（▲20.1）から2.4ポイント改善した。

③ 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が25.0%、「増加」とする事業者が37.5%で、判断指標は4.2となり、前回（23.3）より19.1ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が29.2%、「増加」とする事業者が25.0%で、判断指標は▲12.5となり、前回（10.0）よりも22.5ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が41.7%、「増加」とする事業者が12.5%で、判断指標は▲50.0となり、前回（▲23.3）よりも26.7ポイント悪化した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が20.5%、「増加」とする事業者が28.2%で、判断指標は5.1となり、前回（5.2）から0.1ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が12.9%、「増加」とする事業者が35.9%で、判断指標は23.1となり、前回（5.2）から17.9ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が23.0%、「増加」とする事業者が30.8%で、判断指標は5.1となり、前回（▲5.2）から10.3ポイント改善した。

④ 運賃・料金水準

運賃・料金水準は一般貨物1.7（前回2.3）と0.6ポイント悪化、宅配貨物は▲4.2（前回16.7）と20.9ポイント悪化、宅配以外の特積貨物は35.9（前回12.1）から23.8ポイント改善となっている。

⑤ 実働率等

実働率は▲7.7（前回▲4.6）と3.1ポイント悪化、実車率は▲6.7（前回▲3.4）となり3.3ポイント悪化となった。

雇用状況（労働力の過不足）は81.3（前回88.8）と7.5ポイント低下し、不足感が弱くなった。採用状況は▲8.1（前回▲3.8）で4.3ポイント減少し、所定外労働時間は▲12.1（前回▲4.0）と8.1ポイント減少している。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は0.2（前回3.1）で2.9ポイント減少となった。経常損益は▲16.0（前回▲14.3）となり、1.7ポイント悪化となった。

⑥ 規模別及び取扱い品目別、地域別

事業者の規模別では、大規模事業者は▲6.9（前回▲6.1）と0.8ポイント悪化、中規模事業者は▲18.1（前回▲11.4）となり、6.7ポイント悪化、小規模事業者は▲26.4（前回▲25.5）と0.9ポイント悪化となっている。

一般貨物における主な取扱い品目別については、消費関連貨物は▲14.1（前回▲8.9）と5.2ポイント悪化、建設関連貨物は▲31.2（前回▲33.0）と1.8ポイント改善、機械関連貨物は▲22.9（前回▲14.1）と8.8ポイント悪化しており、その他貨物は▲18.5（前回▲15.6）と2.9ポイント悪化している。

一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、北海道、東北、中部、近畿は水準を上げているが、関東、北陸信越、中国、四国、九州は水準を下げている。

2. 今後（平成29年7月～9月期）の見通し

① 概況

平成29年7月～9月期の見通しについて、業界の景況感の判断指標は▲19.4で、今回から0.2ポイント下げる見込み。

② 一般貨物

一般貨物は、輸送数量と営業利益はほぼ同水準、営業収入は僅かに水準を下げる見込みである。

③ 特別積合せ貨物

宅配貨物について、輸送数量は水準を下げる一方で、営業収入はやや水準を上げ、営業利益は水準を上げる見込みである。

宅配以外の特積貨物について、輸送数量はほぼ同水準、営業収入は水準をやや下げ、営業利益は水準を僅かに下げる見込みである。

④ 運賃・料金水準

一般貨物は僅かに上昇、宅配貨物は上昇、宅配以外の特積貨物はほぼ同水準の見込みである。

⑤ 実働率等

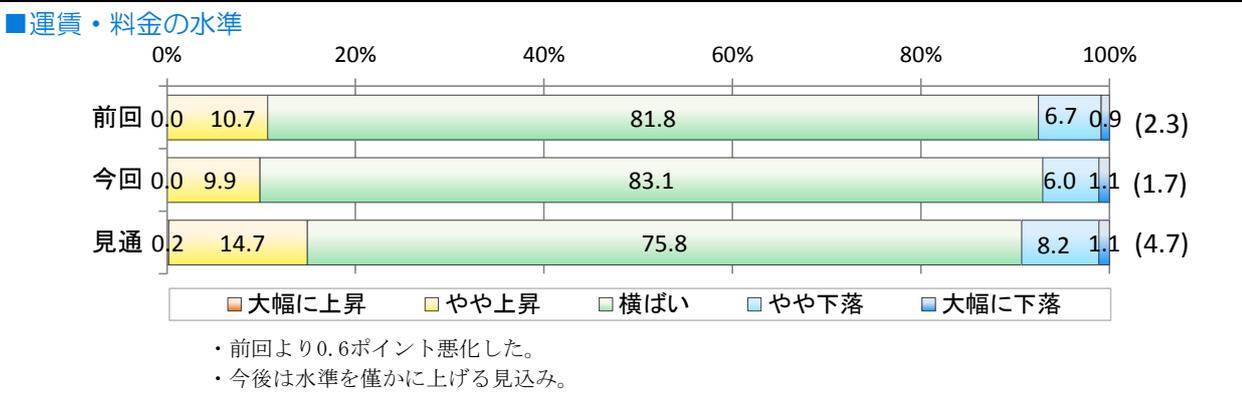
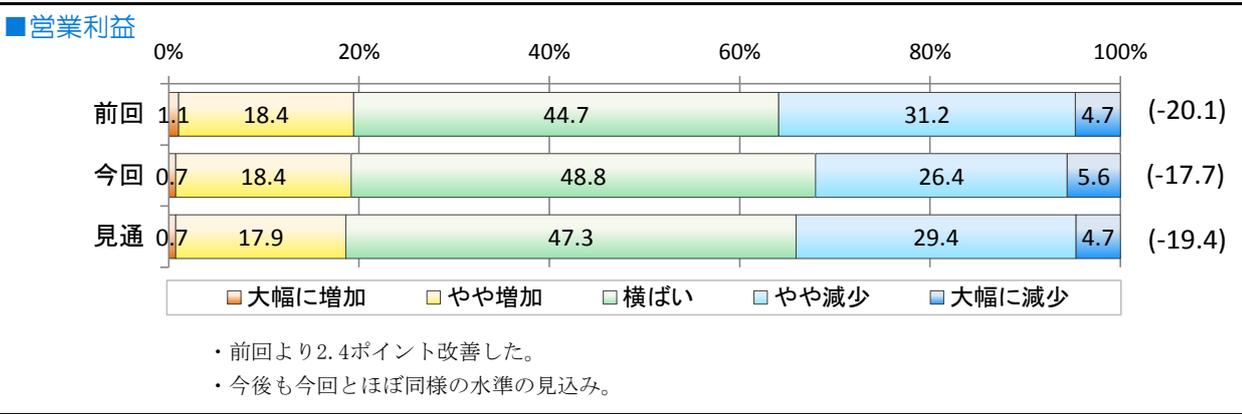
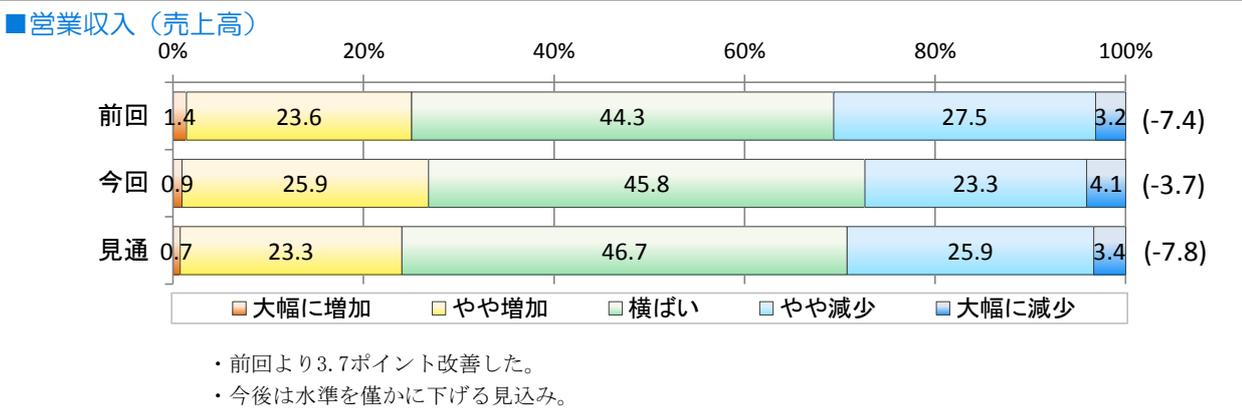
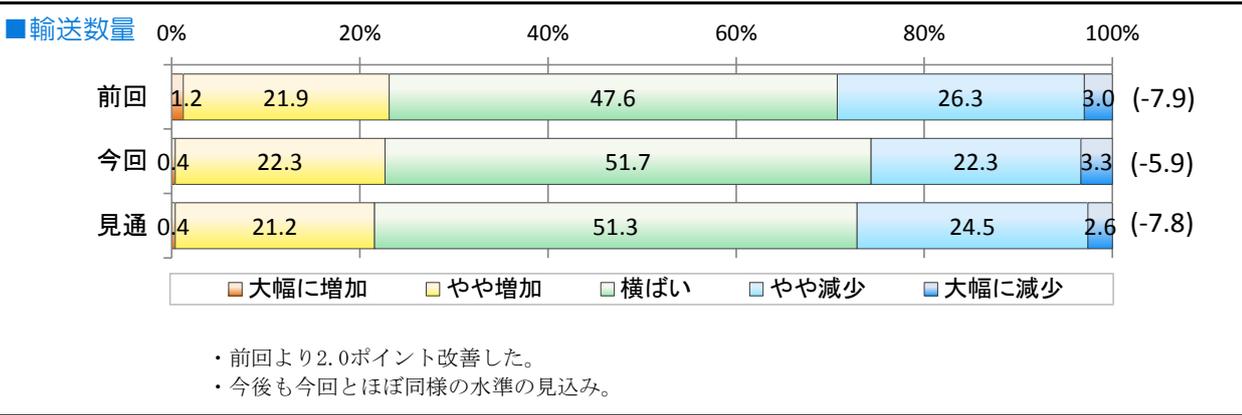
実働率、実車率はほぼ同水準の見込みである。雇用状況（労働力の過不足）は水準を上げ、不足感が強まる見込みである。採用状況は水準を僅かに下げ、所定外労働時間、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）、経常損益はほぼ同水準の見込みである。

⑥ 規模別および取扱い品目別、地域別

大規模事業者は同水準、中規模事業者、小規模事業者はほぼ同水準の見込みである。

一般貨物における主な取扱い品目別では、消費関連貨物と機械関連貨物は水準を僅かに下げ、建設関連は水準を上げる見込みである。その他貨物は、同水準の見込みである。一般貨物における地域別では、北海道、東北、近畿、四国、九州は水準を下げ、北陸信越と中部は同水準、関東と中国は水準を上げる見込みである。

3. 一般貨物の概況



【調査の概要】

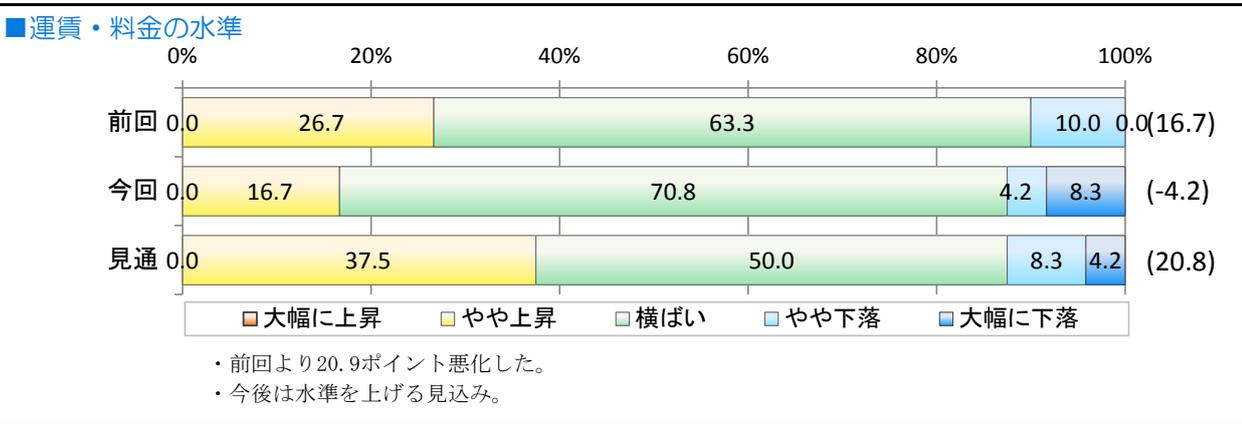
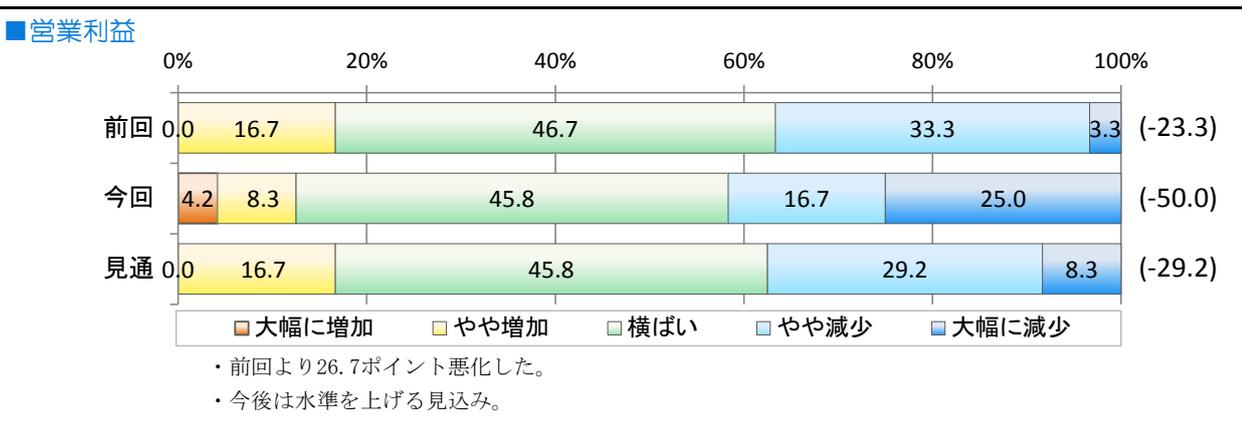
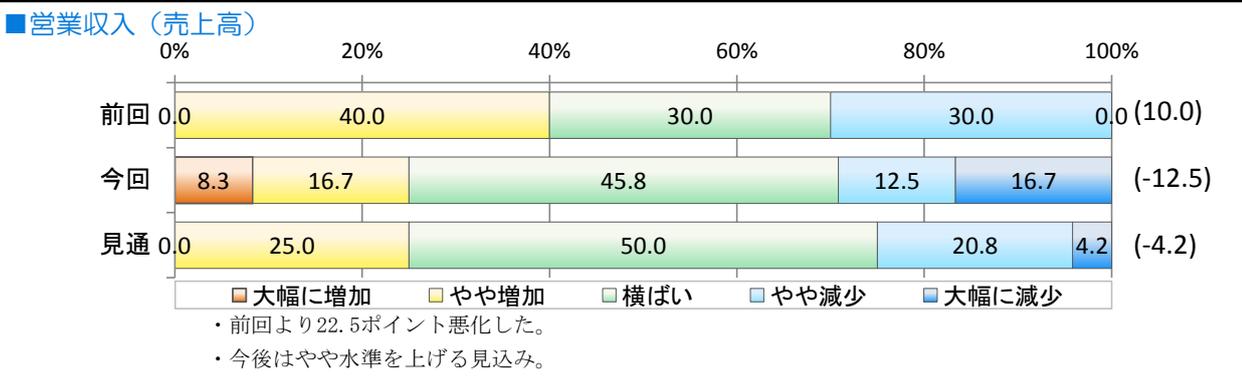
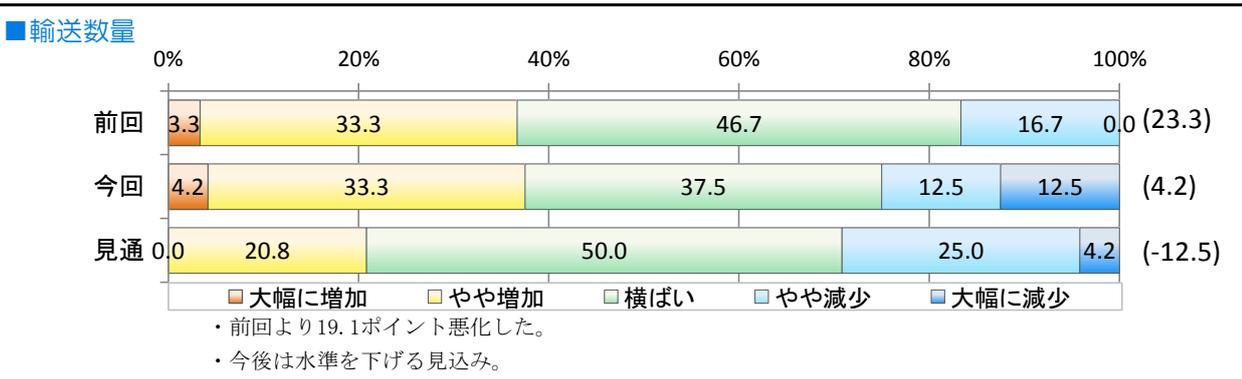
平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第98回調査は、平成29年6月26日に、モニターに対して調査開始。平成29年7月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
51	539	556

※一部回答事業者の重複あり

4. 特積貨物の概況

① 宅配貨物



(注1) 各グラフの上段は前回 (H29.1月～3月期) の状況、中段は今回 (H29.4月～6月期) の状況、下段は今後 (H29.7月～9月期) の見通しを示す。いずれも前年同期比を集計している。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

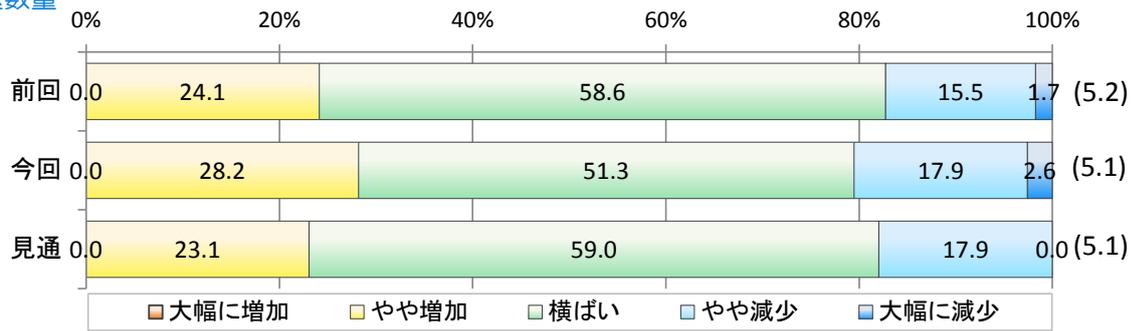
(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、大幅に増加・上昇・好転、労働力不足+2、やや増加・上昇・好転、労働力不足+1、横ばい0、やや減少・低下・悪化、労働力過剰-1、大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5 (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = $\{(+2 \times a1) + (+1 \times a2) + (0 \times a3) + (-1 \times a4) + (-2 \times a5)\} \div A \times 100$

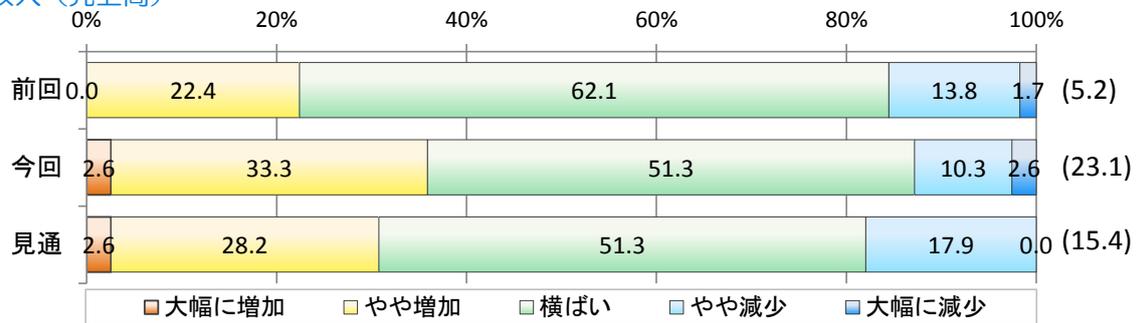
② 宅配以外の特積貨物

■ 輸送数量



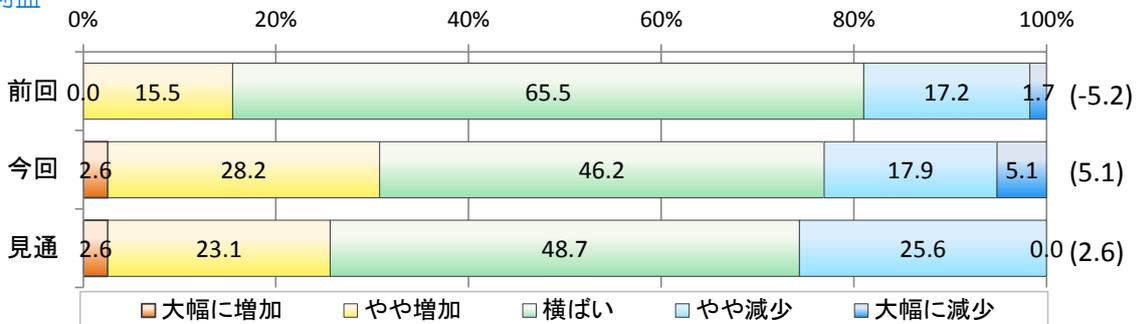
- ・前回より0.1ポイント悪化した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■ 営業収入 (売上高)



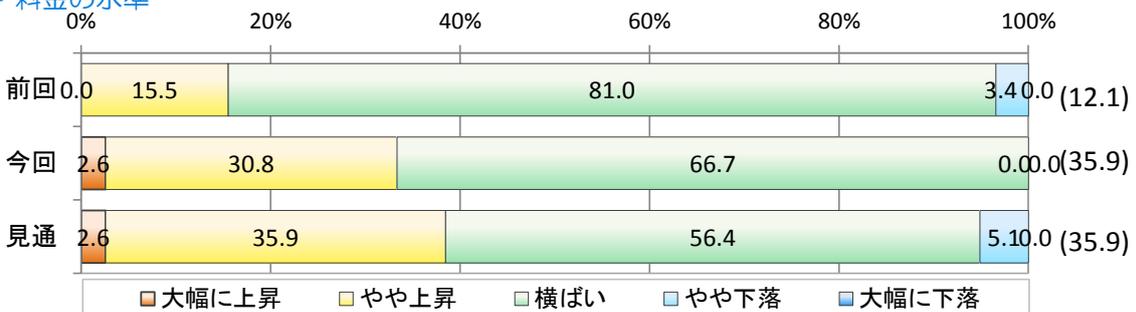
- ・前回より17.9ポイント改善した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

■ 営業利益



- ・前回より10.3ポイント改善した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

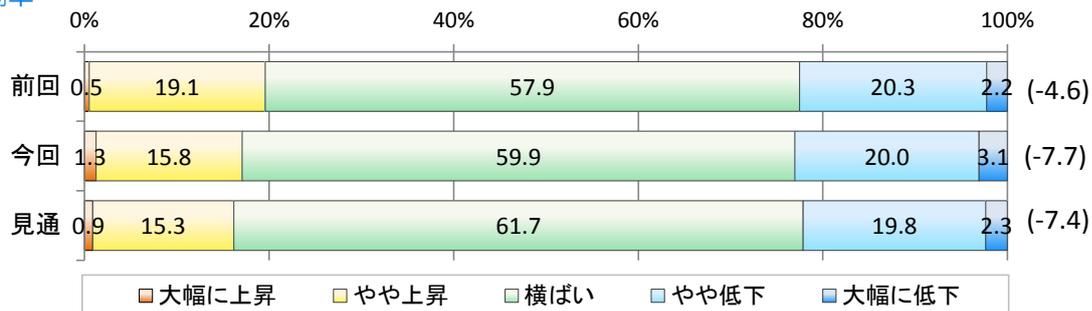
■ 運賃・料金の水準



- ・前回より23.8ポイント改善した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

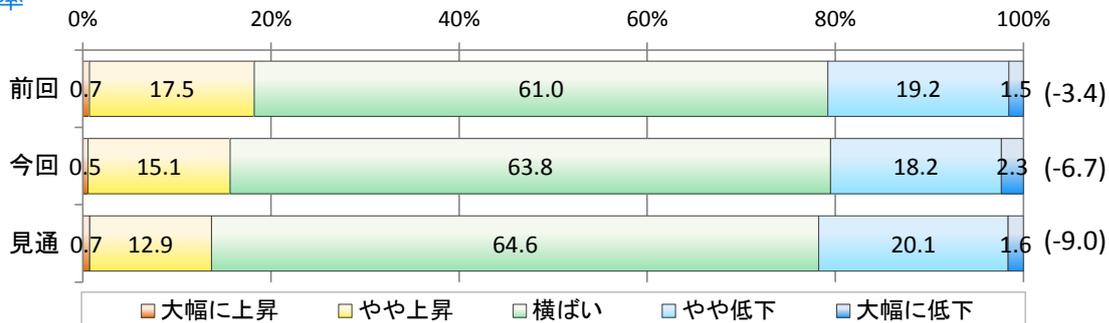
5. 共通の概況

■実働率



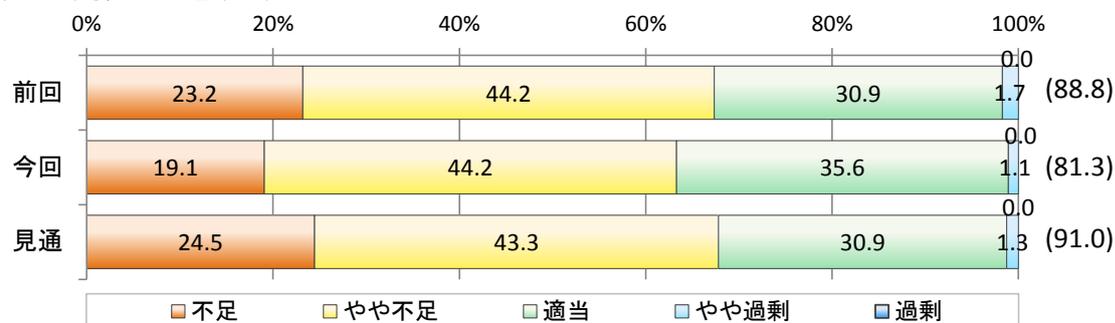
- ・前回より3.1ポイント悪化した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■実車率



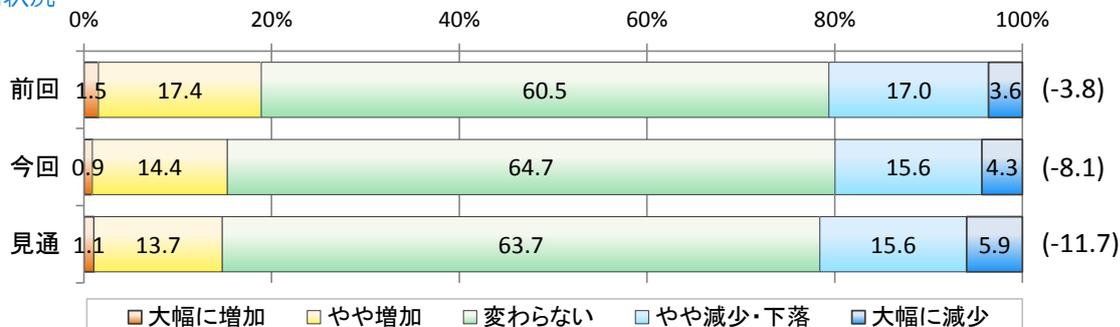
- ・前回より3.3ポイント悪化した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■雇用状況（労働力の過不足）^(注4)



- ・前回より7.5ポイント低下した（不足感が弱くなった）。
- ・今後は水準を上げる見込み。

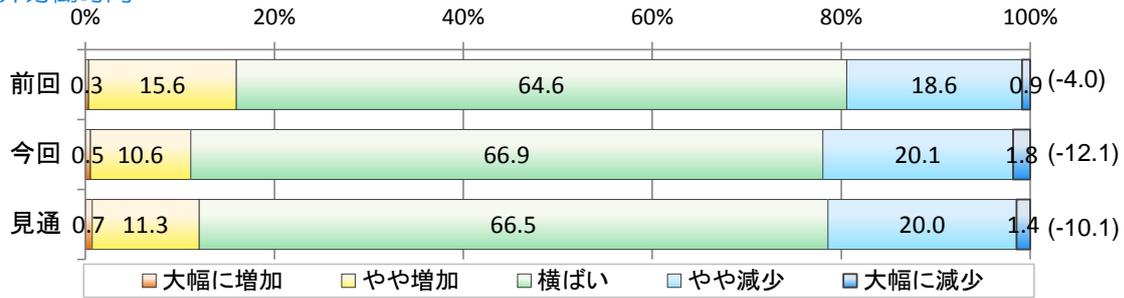
■採用状況



- ・前回より4.3ポイント減少した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

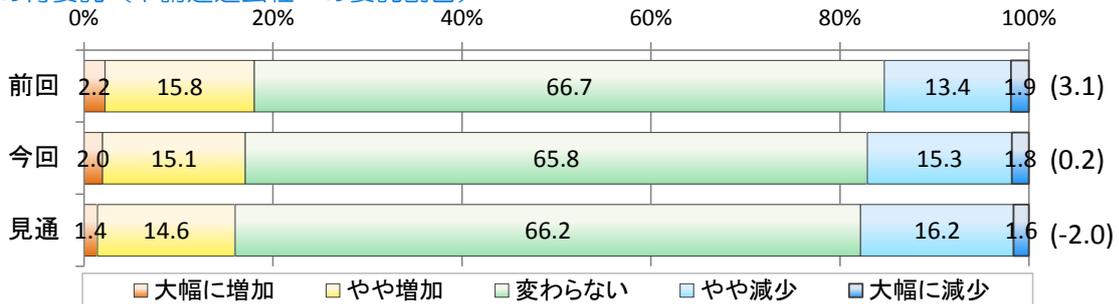
(注4) 雇用状況については、上段は前回(H29.1月～3月期)の状況、中段は今回(H29.4月～6月期)の状況、下段は今後(H29.7月～9月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を質問している。

■ 所定外労働時間



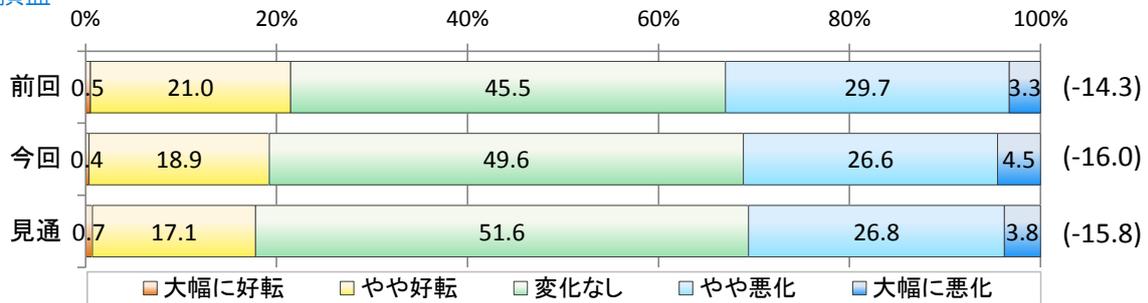
- ・前回より8.1ポイント減少した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■ 貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）



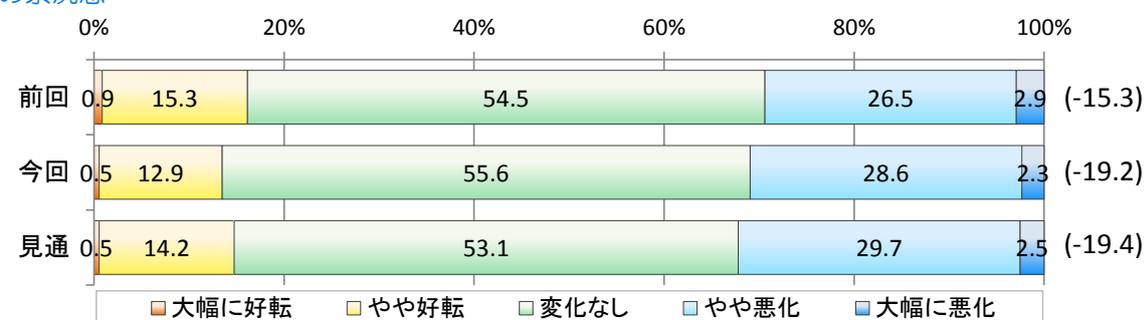
- ・前回より2.9ポイント減少した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■ 経常損益



- ・前回より1.7ポイント悪化した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

■ 業界の景況感

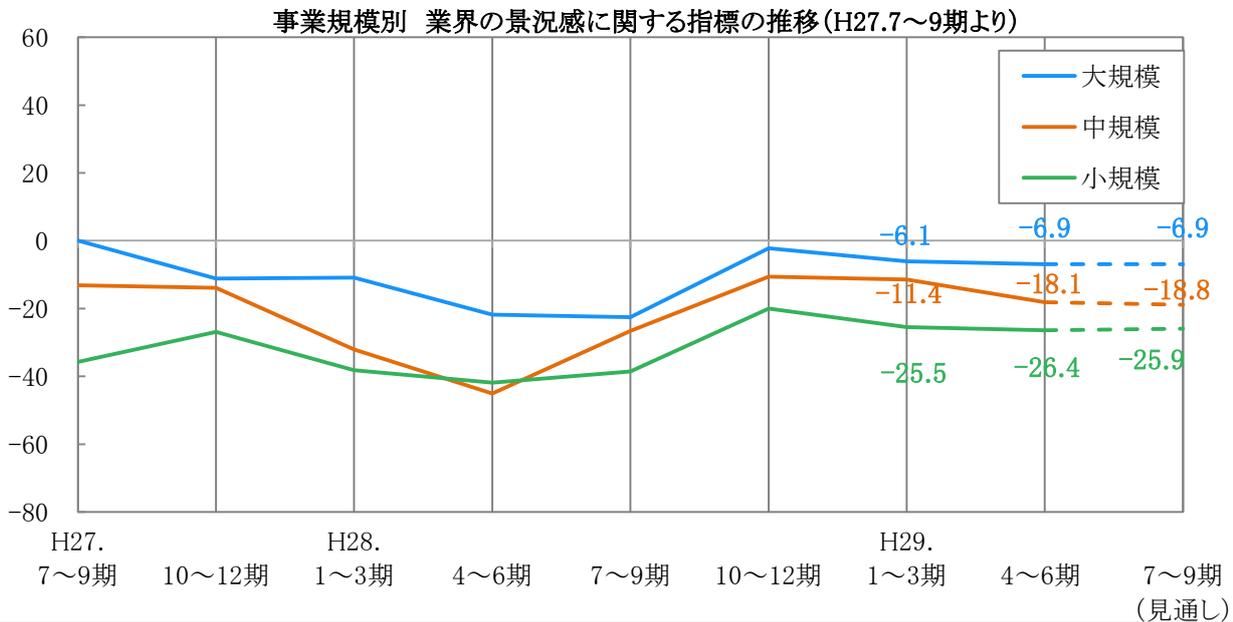


- ・前回より3.9ポイント悪化した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

6. 事業者特性別の特徴

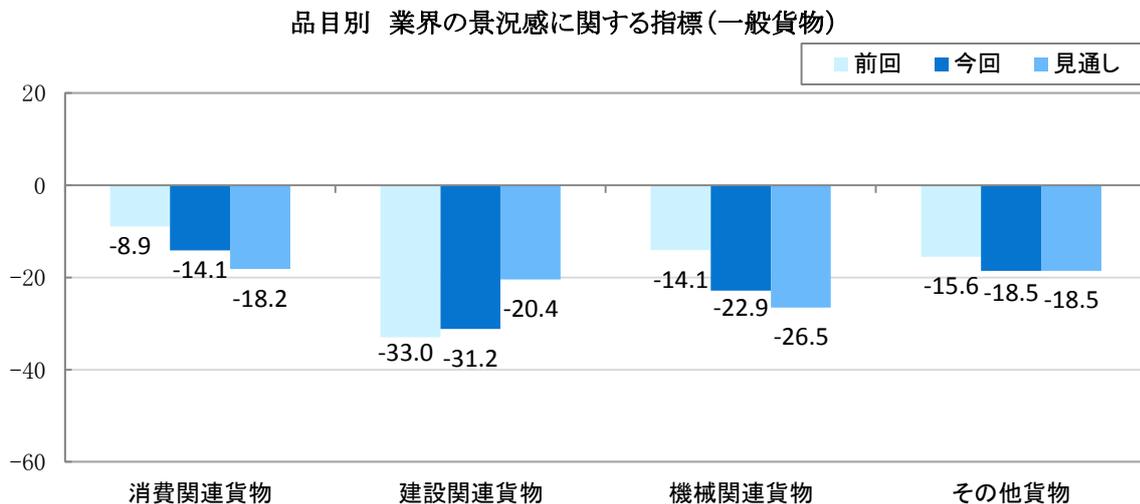
① 規模 (注5)

- ・事業規模別景況感は前回と比べ、大規模事業者と小規模事業者はほぼ同水準、中規模事業者は水準をやや下げている。
- ・今後は大規模事業者は同水準、中規模事業者、小規模事業者はほぼ同水準の見込みである。



② 品目 (注6)

- ・「消費関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準をやや下げしており、今後は僅かに下げる見込みである。
- ・「建設関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準はほぼ同水準であり、今後は水準を上げる見込みである。
- ・「機械関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準をやや下げしており、今後も僅かに下げる見込みである。
- ・「その他貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を僅かに下げしており、今後は同水準の見込みである。



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

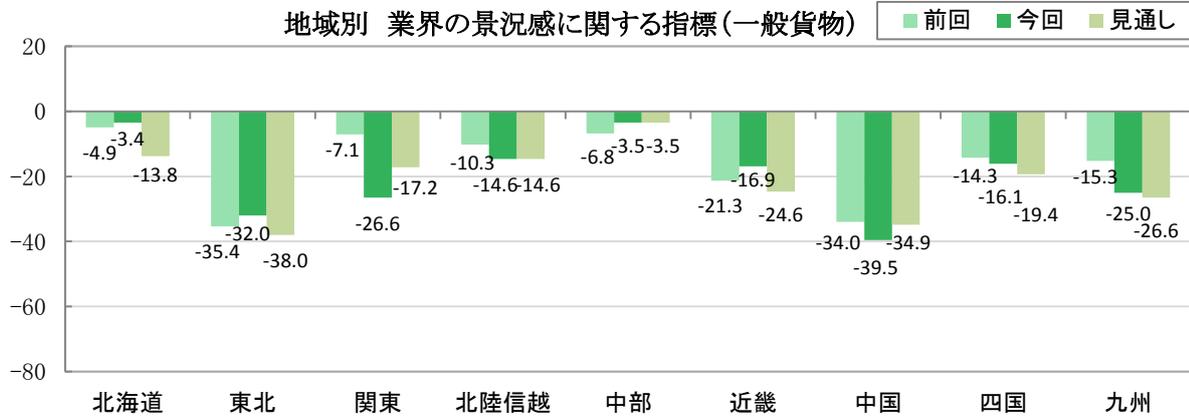
機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

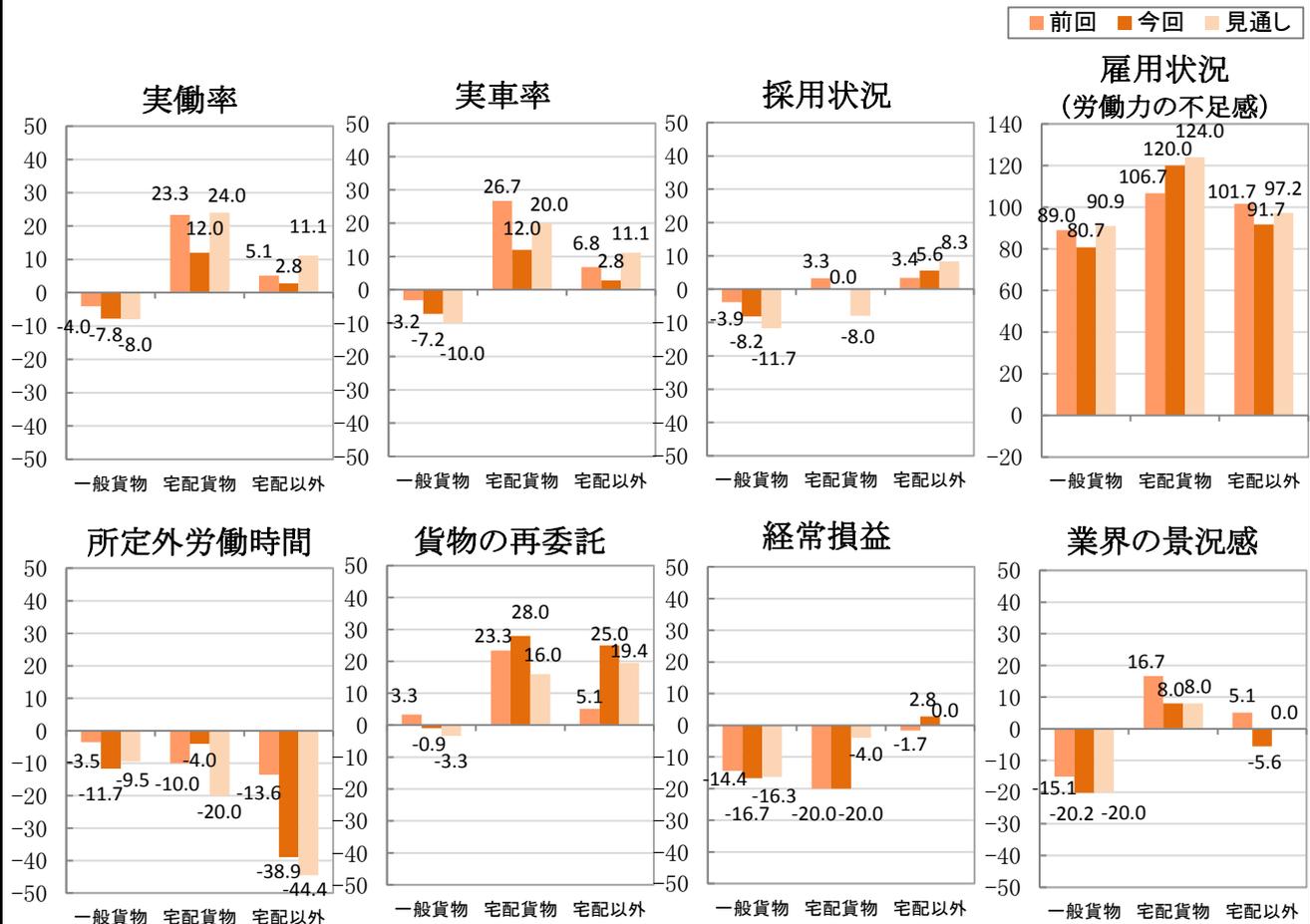
③ 地域 (注7)

- ・一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、北海道、東北、中部、近畿は水準を上げており、関東、北陸信越、中国、四国、九州は水準を下げている。
- ・今後は、北海道、東北、近畿、四国、九州は水準を下げ、北陸信越と中部は同水準、関東と中国は水準を上げる見込みである。



④ 事業形態別 (注8)

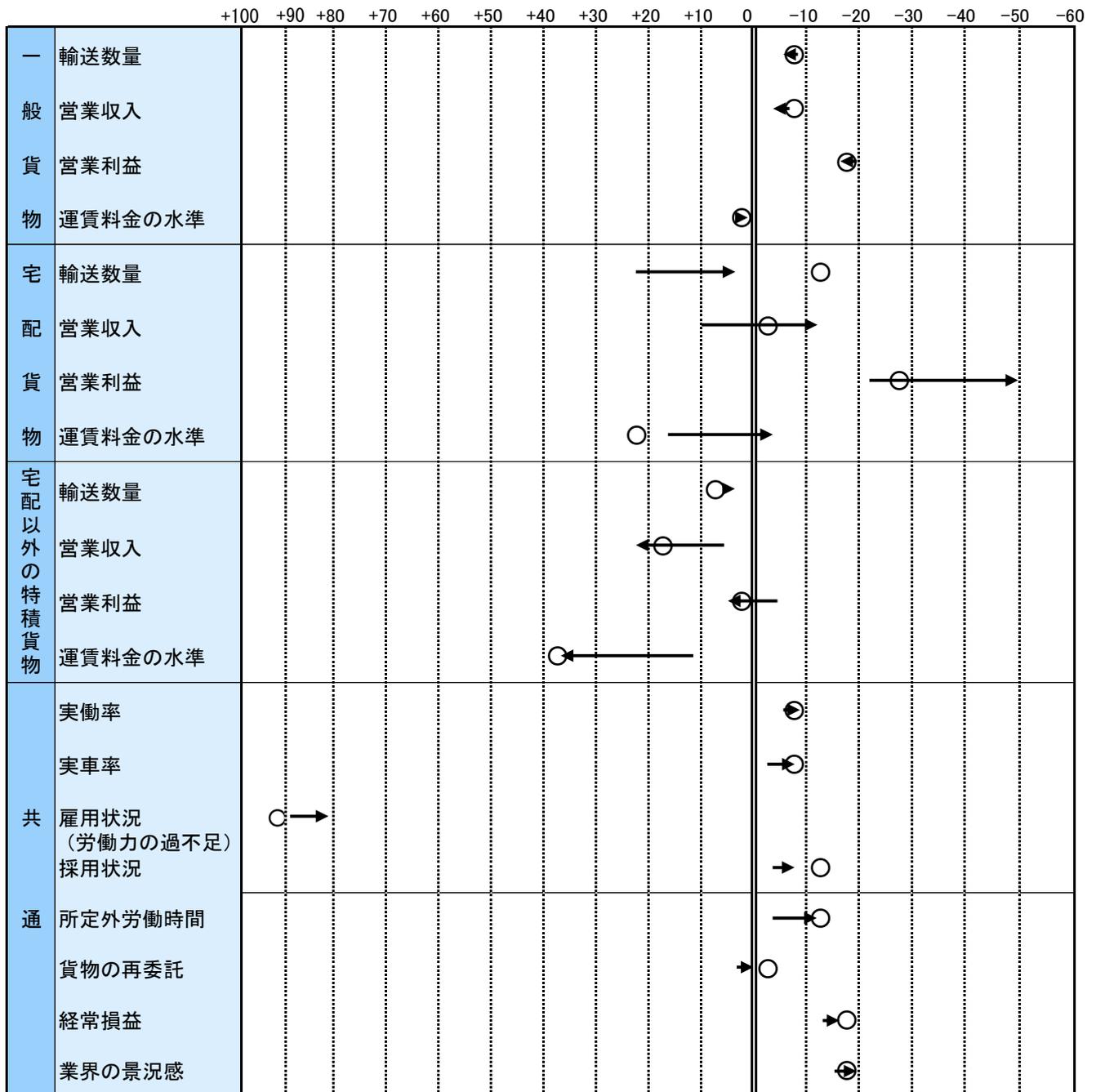
- ・「宅配貨物」は、労働力の不足感が今回・見通しともに一段と水準を上げている。来期は、貨物の再委託が減少し、自社車両の実働率、実車率（輸送効率）が改善することで、経常損益が改善する見込みである。
- ・今回の景況感は、「一般貨物」、「宅配貨物」、「宅配以外」の全てにおいて水準を下げる一方で、来期見通しは「一般貨物」、「宅配貨物」は横ばい、「宅配以外」は水準を回復する兆しが見られる。



(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

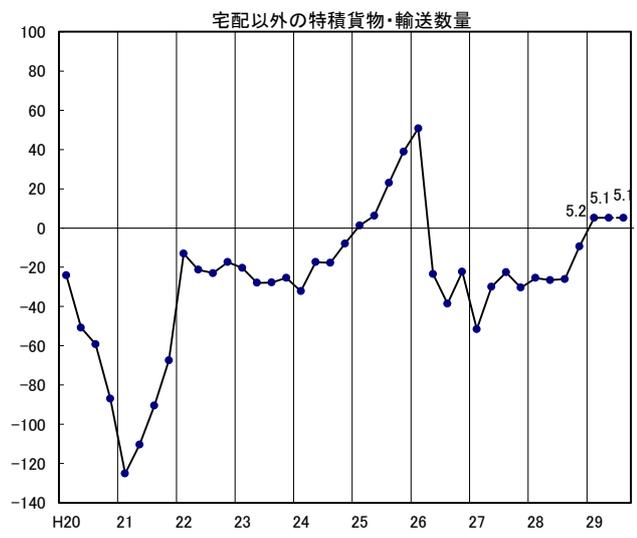
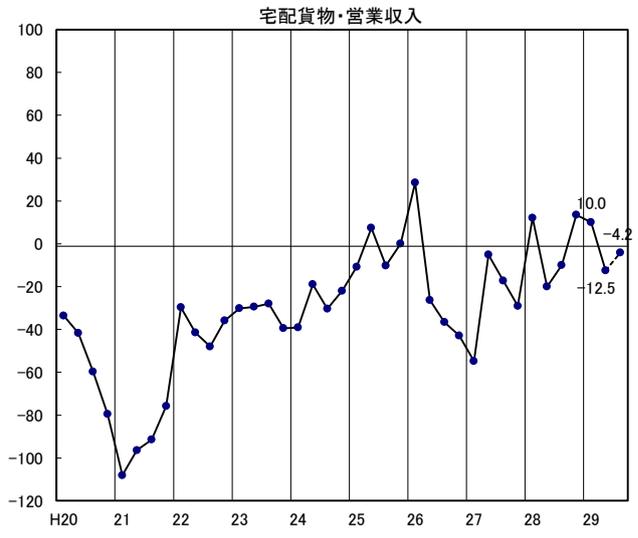
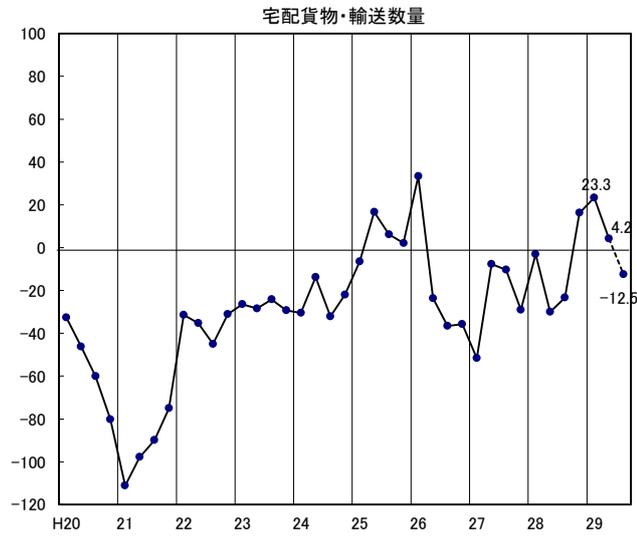
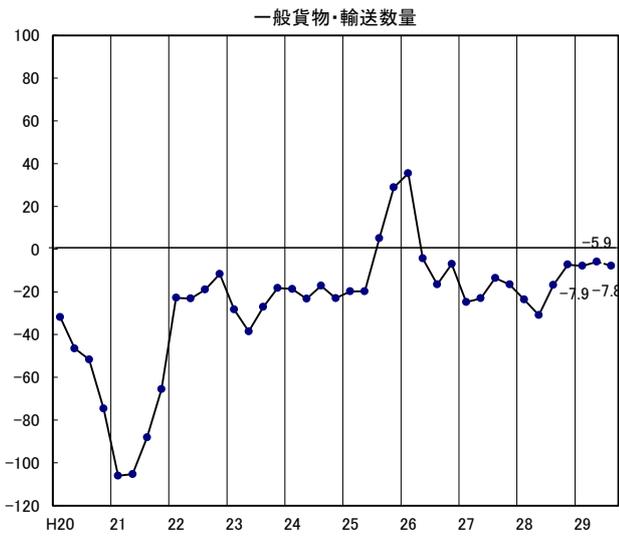
7. 業況判断指標の前回調査（平成29年1月～3月期）からの変化



凡例
 矢元：1-3月期の実績 矢先：4-6月期の実績 白丸：7-9月期の見通

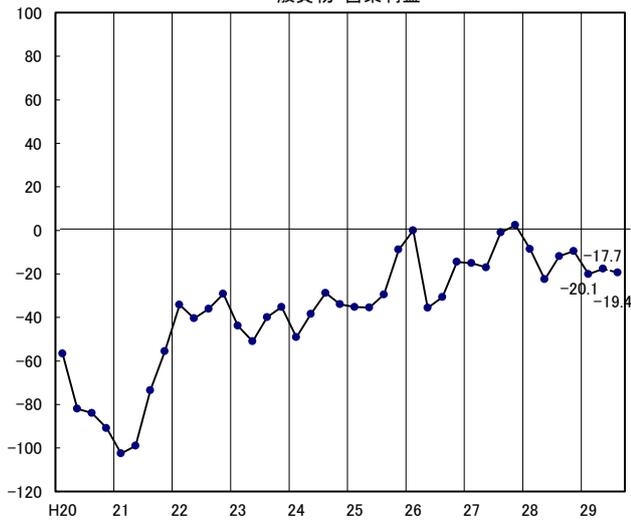
8. 業況判断指標の推移

平成20年～平成29年第3四半期見通し

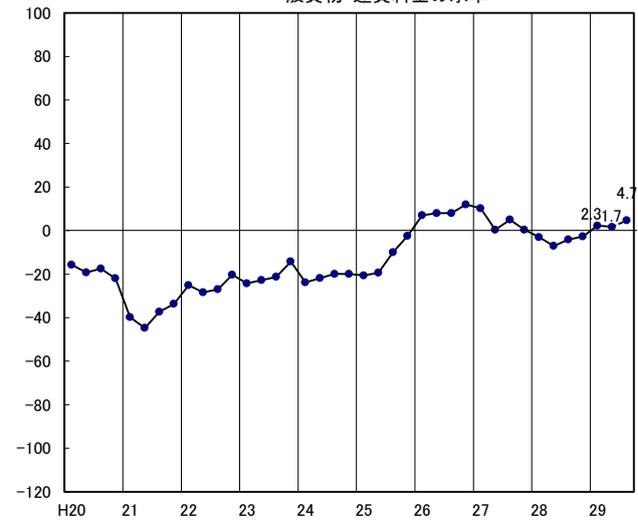


平成20年～平成29年第3四半期見通し

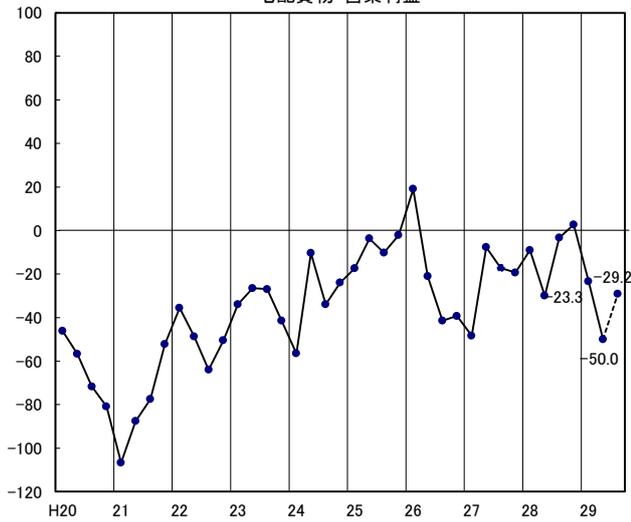
一般貨物・営業利益



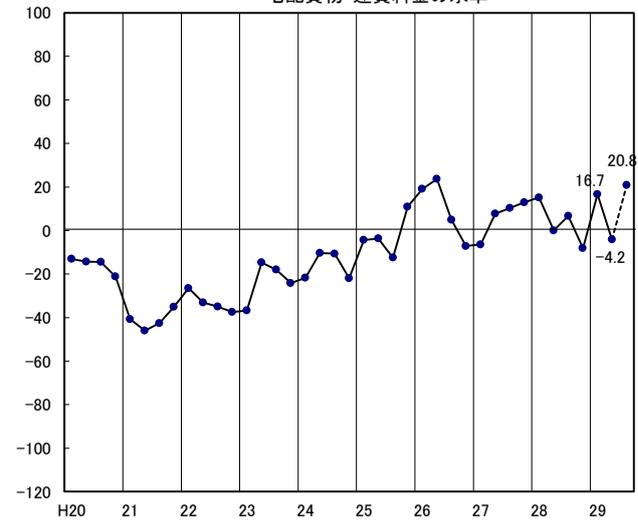
一般貨物・運賃料金の水準



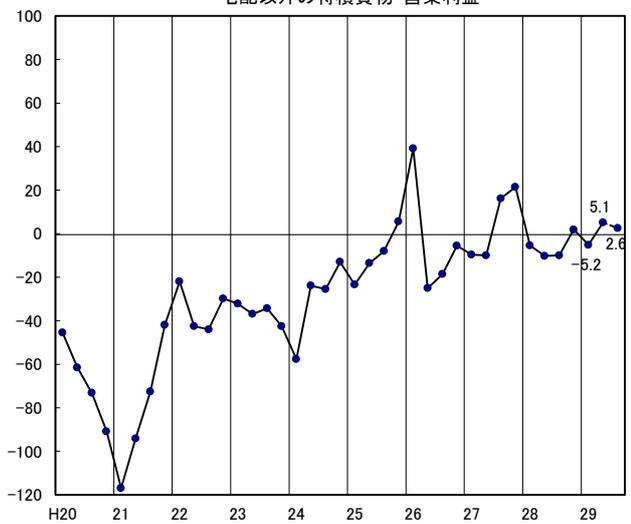
宅配貨物・営業利益



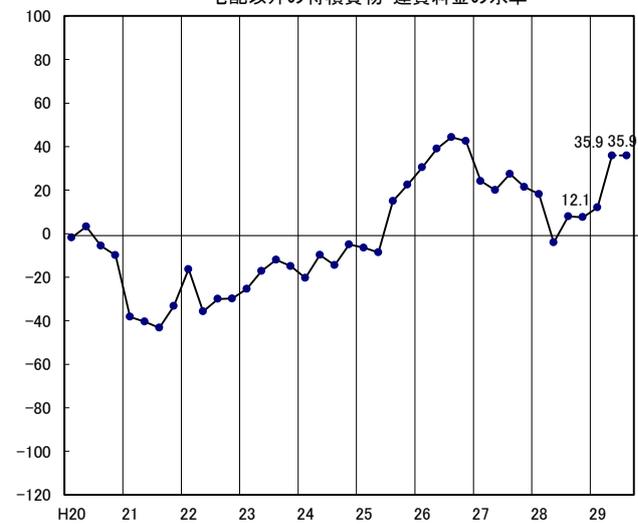
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配以外の特積貨物・営業利益

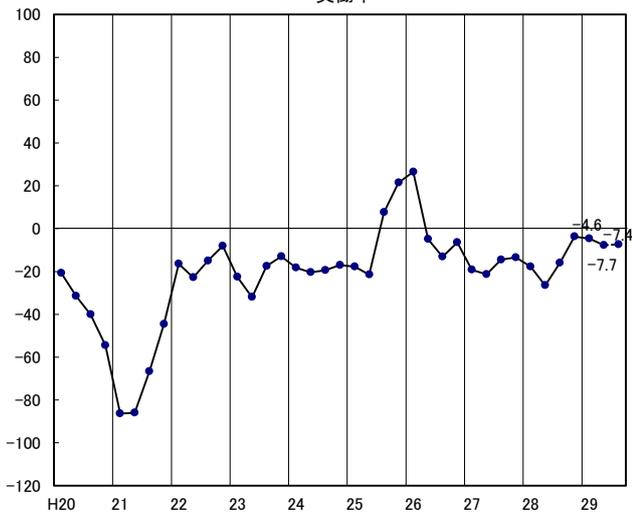


宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準

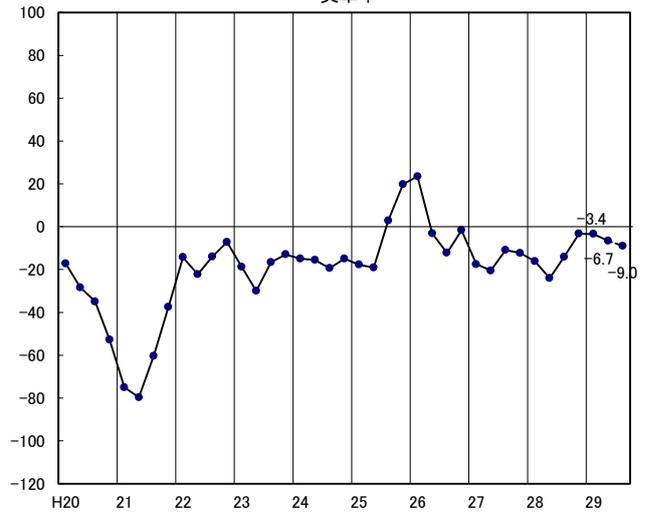


平成20年～平成29年第3四半期見通し

実働率



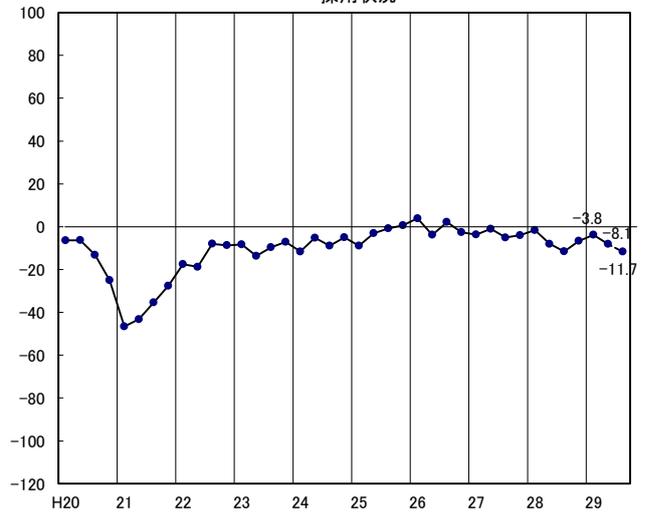
実車率



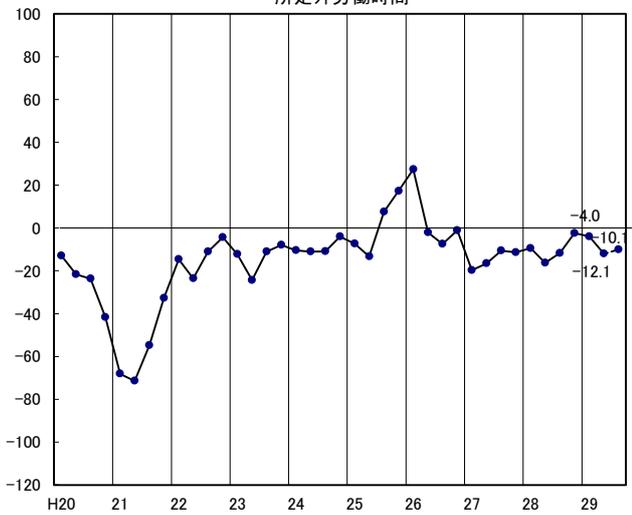
雇用状況



採用状況

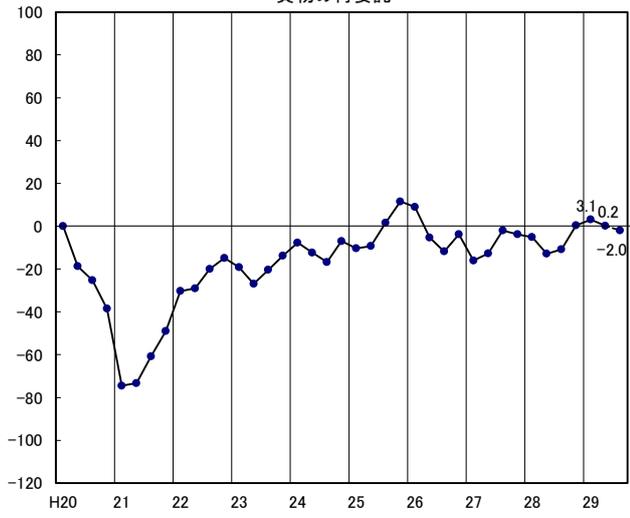


所定外労働時間

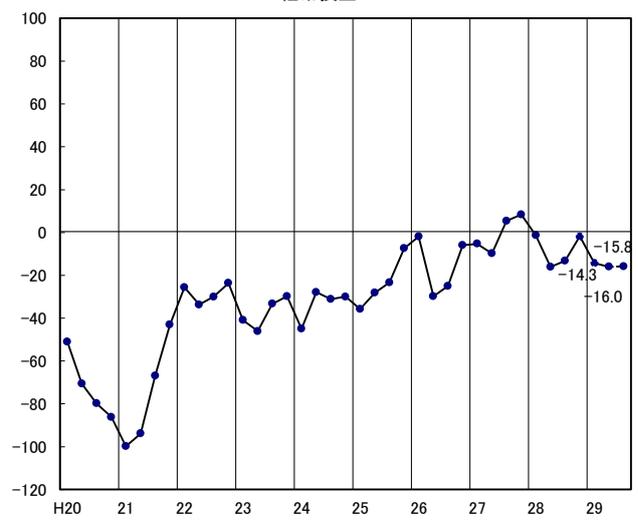


平成20年～平成29年第3四半期見通し

貨物の再委託



経常損益



業界の景況感

